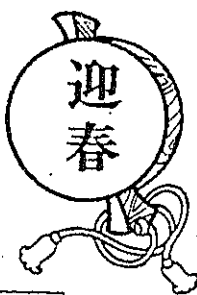


平成2年1月号
【N0.25号】
発行 桜木公民館
徳山市城ヶ丘2-4-21
Tel (0834) 28-5973

あけまして、おめでとうございます。
旧年中は何かとお世話になりまして
有難うございました。
今年も宜しくお願い申し上げます。



(地区内各団体)

(順不同)

- 自治会連合会
- 老人クラブ連合会
- 婦人会
- 体育振興会
- スポーツ少年団連絡協議会
- 子供会育成連絡協議会
- 交通安全協会桜木支部

建国記念の日奉祝行事(2月11日)
地区奉祝行事の具体的方法を、体育振興会を軸とした実行委員会で研究協議中です。(詳細追報)

【桜木地区】

ふるさと創生だより

★ とおの山開発整備

- 客年12月までに、整備する登山道の探索検討を繰り返し、公私分間図の確認・測量、私有地立入の了解交渉、立ち木伐採範囲の確認と目印の設定等を行ない、現在は必要範囲の伐採作業を、チェーンソーを使って連日作業の最中です。
- さらに、頂上へ水を掲げるための水脈探索の為専門家による大がかりな探査を終わり、目下は第1水源の掘削位置の原案を検討中です。
- また、頂上までの配水管工事とポンプ設備工事電気工事等の方法についても研究中です。

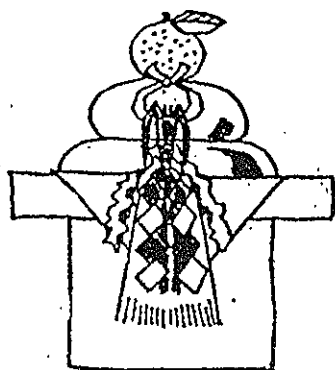
旧年中は格別のご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。いよいよ二十一世紀を目前にした今年、地区コミュニティは新たな視点に立ち、「和」を強め「ふれあい」の輪を大きく広げ、「活力のある桜木地区のまちづくり」に更に邁進しなければなりません。

本年も一層のご支援ご協力の程をお願い申し上げます。

平成二年 新春

桜木地区コミュニティ推進協議会
桜木地区社会福祉協議会
桜木公民館

謹賀新年



— 第3報 —
【平成2年・第1報】
毎月の進捗状況のお知らせ。

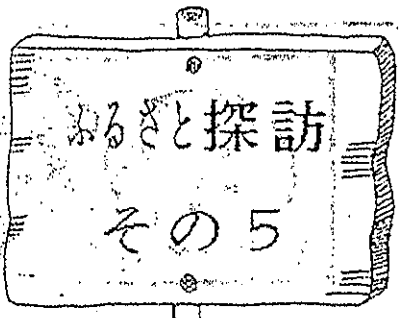
★ 花(鉦桜)づくり

- 「花いっぱい地区づくり」のための花の苗を自治会、各家庭、学校、幼・保育園、各花壇、その他各所に、先ず初年度の必要数やその受け入れ体制その他について、事務局で第1次原案作成、1月25日に自治会代表者の協議会で詰める段取りを進めています。
- 案が固まり次第、花の生産元(徳島県)に注文し、3月末前後の春の息吹の中で地区一斉に植えようとするものです。

ピカアパ情報

!!とおの山に温泉が!!... (とおの山水脈探査こぼれ話) ...

- *とおの山水脈探査(上欄記事)の時、とおの山の頂上付近の地下深くに、温泉水脈が走っていること*
- *が探知された。立会した公民館の伴主事の報告書によると、その位置は、とおの山頂上標高点に連*
- *なる北側の屋根道筋の地下深く延長約300米に亘り探知された。探査を依頼した専門家によれば、*
- *この温泉脈は、東方の久米坂本の通称「久米温泉(冷泉)」に連なる一連の泉脈とのことである。...*



よる考「つづき」存
にをき「つづき」存
寄史話の「つづき」存
の地区の「つづき」存
氏探訪記の「つづき」存
政木探訪記の「つづき」存
坂探訪記の「つづき」存
黒坂探訪記の「つづき」存

三、下馬屋の権現様

下馬屋に「権現様」と呼ばれて篤い信仰を受け親しまれた御社があった。その御社は、今の馬屋公園の南西三十米位の所、城ヶ丘一丁目、山県恒穂氏宅の南、十米位の所にあったのである。ここには権現様をお祀りしてあったので、一般に権現山（標高五十五米）と呼ばれていた。今は住宅団地造成で平地になって整備された宅地となり住宅が建設されている。

この権現様は、祭神も創建年月日も明確でないが、創建については次のような話が残っている。

下馬屋在住の山県百合次郎氏（安政元年三月五日生）が、馬屋に御社がないので住民と協議の結果、上方に行き熊野神社から分霊を戴き、山県氏所有の前記の権現山に社殿を創建してお祀りした。

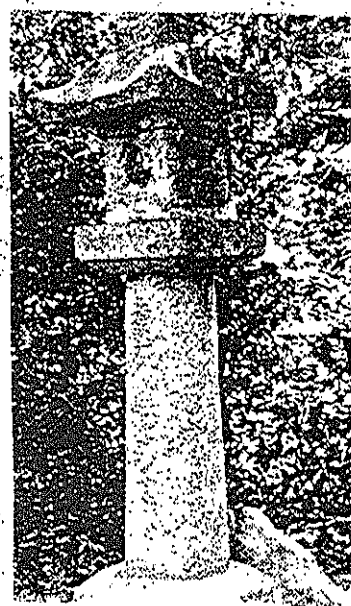
して記載されているが、しかし、下馬屋の権現社の記録はない。故にこの時点では権現様は存在していなかったのである。

次に、明治六年には、上馬屋の河内社は遠石八幡宮に合祀されたという記録が残っていると神本正律先生は言っておられる。この時点で河内社は廃社となり、馬屋には御社は無くなったのである。然し「御田頭幸（ごうでんこう）等の村の神事は、従来通り河内社の跡地で行われていたのではないかと思う。御社は無くてもその跡地に祠を置いて祀り、神事を行ったという事は各地でよく見られたのだそうである。

以上のことから考えて、山県百合次郎氏の権現社建立は、明治三十一年以前であろうと推定されるのである。

権現様の春祭りは毎年四月十三日に遠石八幡宮から神官をお迎えして行われた。露店も出て賑わったということがある。また毎年ではないが、御社の下の広場で十数頭の馬が集まり草競馬が行われ、大いに盛り上がったと古老は語っていた。また御田頭幸も、明治三十一年から毎年行われたのは記録帳から明らかである。

そして、祭神は遠石八幡宮に合祀され社殿は解体された。鳥居・灯籠・御田頭幸の神輿・幟・太鼓・潮汲みの手桶・等は八幡宮に奉納して保管を依頼した。



〔写真直上〕
（上）遠石八幡宮の社殿広場に
移した「権現様」の灯籠。
（右）（前月号の）「上馬屋の河内社」跡地の現状。
*左端が河内社祠、右は、崩れた手洗鉢の残骸。

〔※河内社跡地の祠と手洗鉢は同場所にある。〕

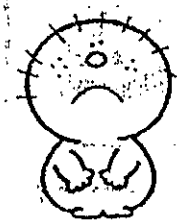
育児（子育て）講座

【主催・城ヶ丘保育園】

●とき・2月17日（土）

AM9:50～12:00

●ところ・城ヶ丘保育園



●講座内容

①部＝講演・日本文化セミナー講師 関口 徹先生

「ゆたかな心を育てる、乳幼児期の絵本体験」

②部＝親子で楽しむ

「子供たちへ音楽の贈りもの」

※聴講無料

◆市の土曜閉庁（第2、4土曜）に関して！◆

【公民館は平常どおりです】

★徳山市役所は、2月24日（土）から、毎月第2・第4土曜日が休みとなります。

（市広報の1月5日号で既報のとおり）

★しかし、公民館は従来どおりで開館し利用できますので、今までと同様に学習・講座・集会等に十分ご利用下さるようお知らせ致します。